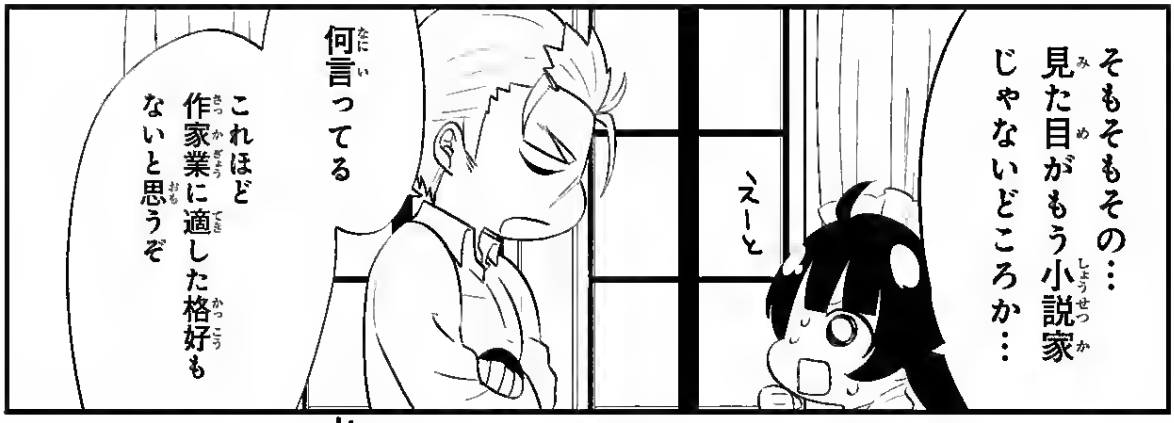
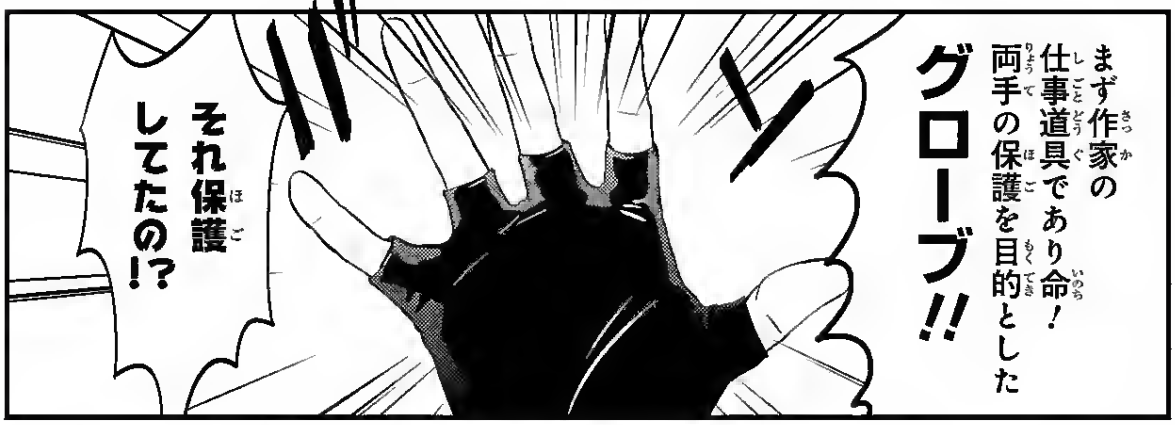
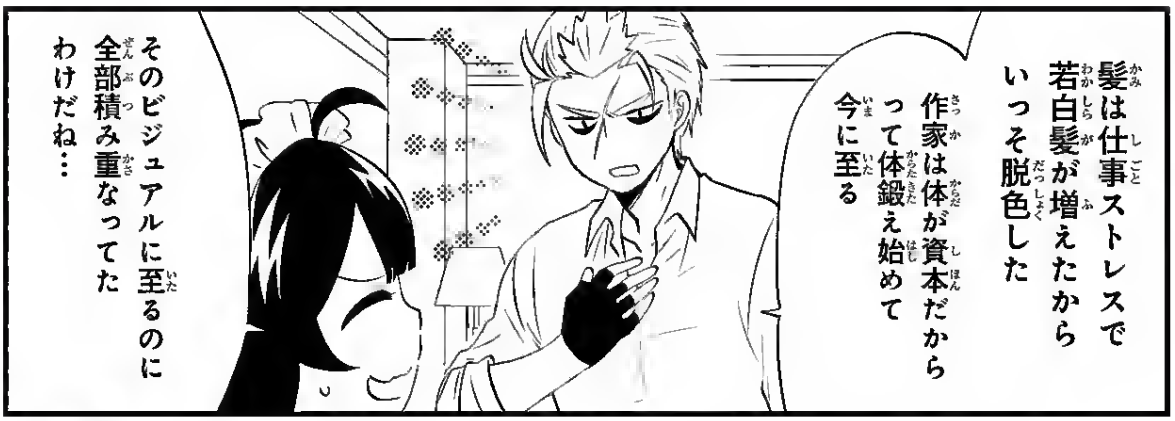
※この漫画はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。


そもそもその…
見た目がもう小説家じゃないどころか…
へーと
何言ってる
これほど作家業に適した格好もないと思うぞ


まず作家の仕事道具であり命！
両手の保護を目的としたグローブ!!
それ保護してたの!?

作業中も視界を遮らず仕事先の大人相手にも礼節を尽くした髪型オールバック!!
金髪はいいの!?

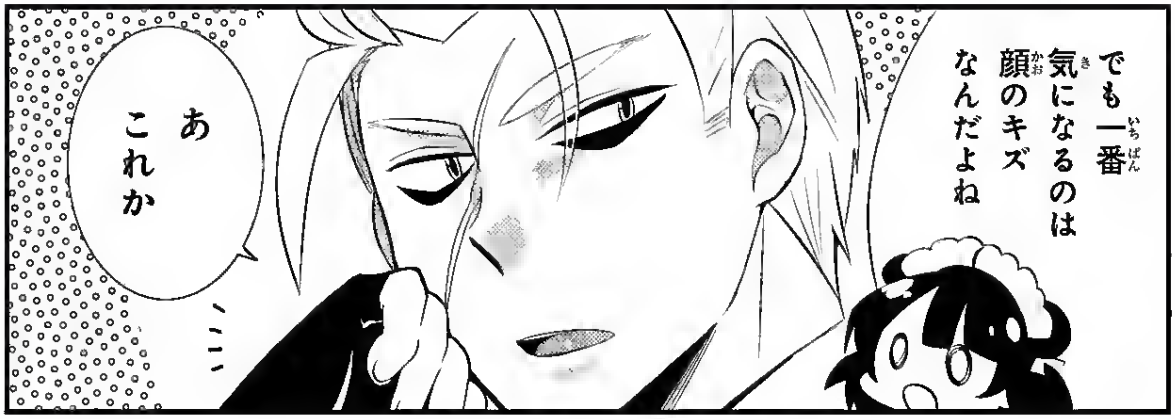
そして連日の執筆作業ですっかり取れなくなった目の下のクマだ！
睡眠
大事!
そこだけ妙にリアルなんだね…

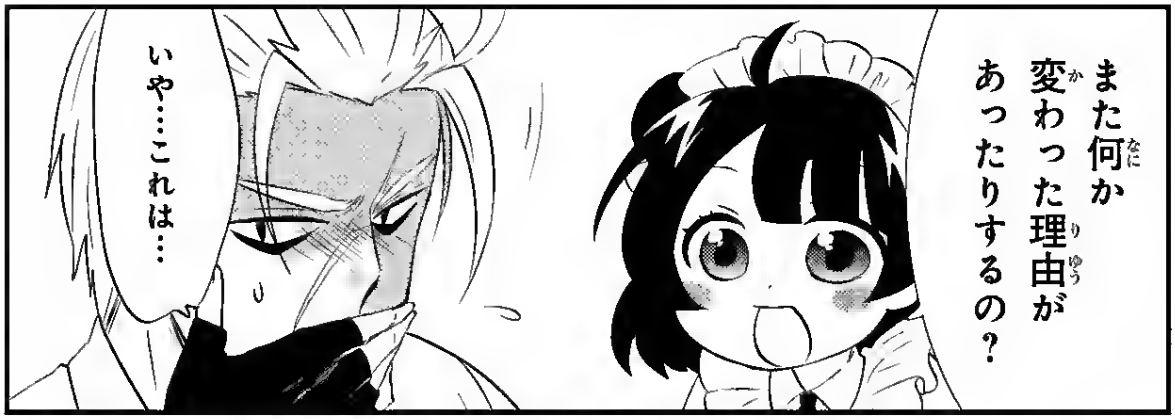

髪は仕事ストレスで
若白髪が増えたから
いっそ脱色した
作家は体が資本だから
って体鍛え始めて
今に至る
そのビジュアルに至るのに
全部積み重なってた
わけだね…

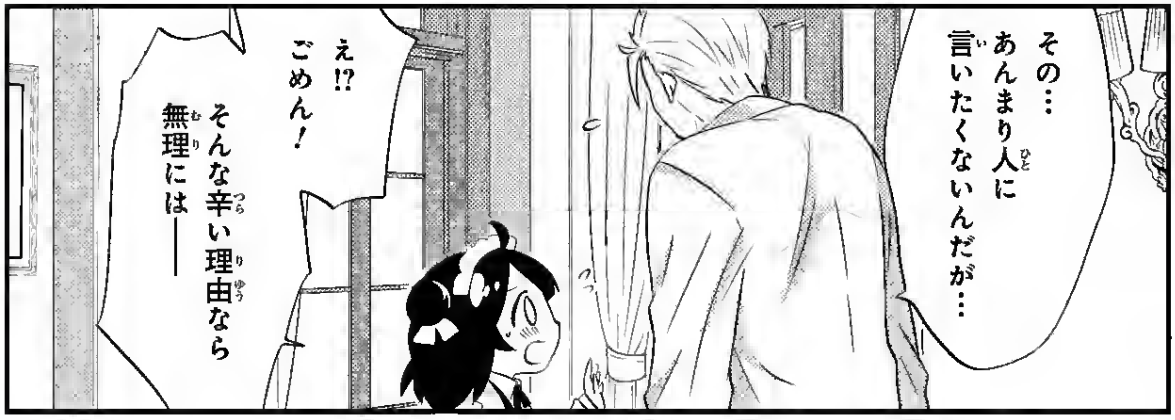
怖がられてるけど
人付き合い苦手だから
むしろ楽
小森みたいに俺のこと
ちゃんと知って
友達になってくれる
人だっている
それに——
それに？

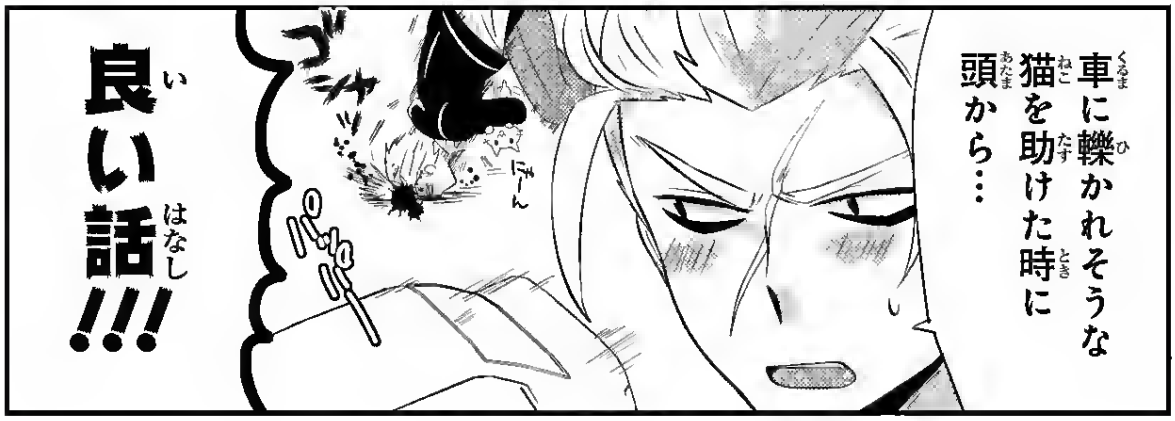
有人に下心で
近づいてくる奴
排除する手間が
省けていいよね
そのままでいいじゃん

被害は
少ない方がいい…
あのヤンデレ
執事——!!!





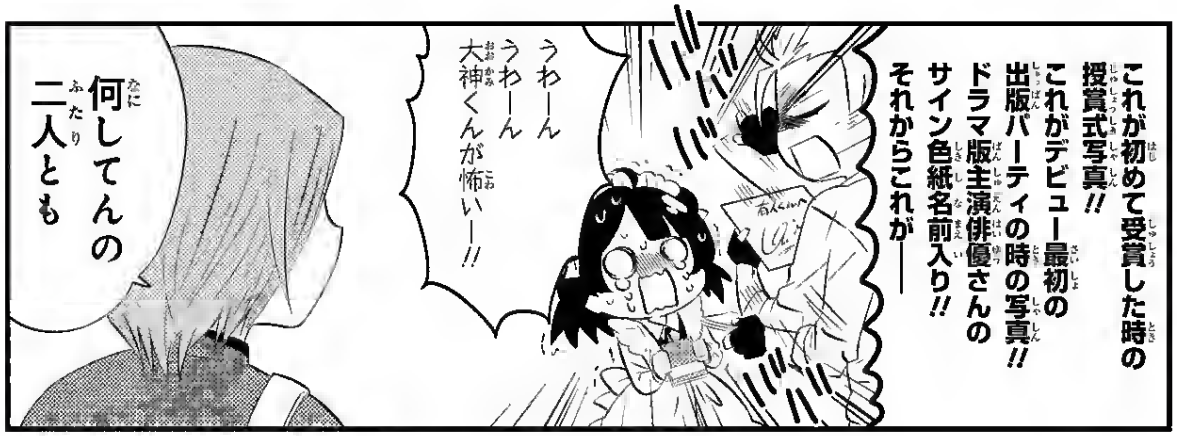



車に轢かれそうな
猫を助けた時に
頭から…
ゴッ
ぴゃ
ぴゃ
ぴゃ

まぁ小森の言いたいことも分かるから作家だと分かる証拠をみせてやる
ドヤっ
どど
これ来月発売の俺の新刊
えっなんでここにあるの!?
次有人の部屋来た

発売前に完成した本が作者に送られてくるんだ
まだ店頭に並んでない本だぞ！
へぇ～そうなんだ！

よくわかんないけどすごい感じするね
リアクション薄
作家の
プライド
キャ


これが初めて受賞した時の授賞式写真!!
これがデビュー最初の出版パーティの時の写真!!
ドラマ版主演俳優さんのサイン色紙名前入り!!
それからこれが――
うわーん
うわーん
大神くんが怖いー!!
何してんの二人とも

言っとくけど有人は
ほとんど天才だよ

中学生で
作家デビューして
2年半ずっとヒット
飛ばし続けてるんだから

確かに中学生の時から
才能でお仕事してるなんて
すごいよね…

でも小森だって
中学の時から料理
出来たんだろ

それだってスゴイ

私はそんなすごいもの
作れたわけじゃないし

ぱっ

ガー

あっでも
卵は片手で割るの
上手だったよ！

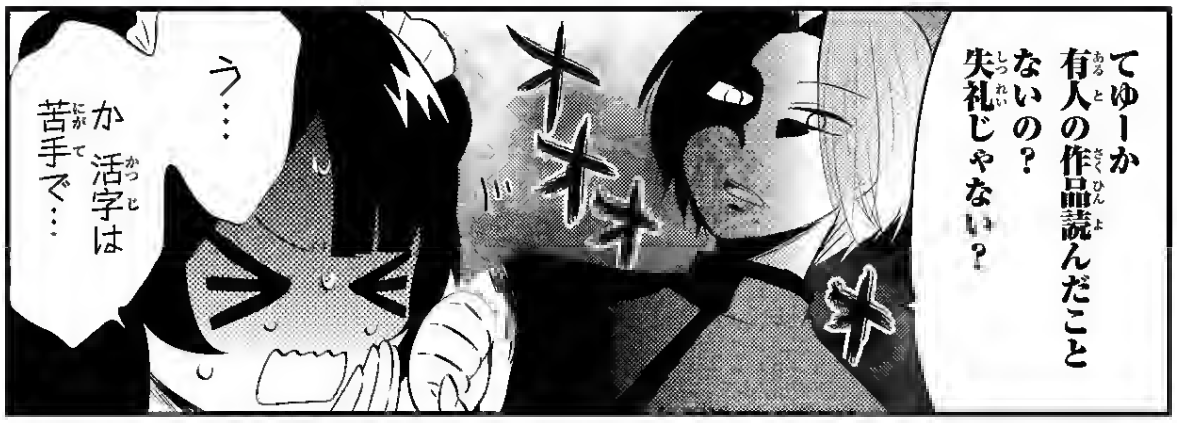
あはは…

小森天才かよ!!!

すげぇ

卵で!!?

あいがとう!!


てゆーか
有人の作品読んだことないの？
失礼じゃない？
オオオ
う…
か 活字は苦手で…

でも…そうだね！
せっかくだし
読んでみたいな！
ドラマ化した作品は
見てたけど
原作読んだことないし！

あーでも
小学生には漢字多くて
難しいかな？
プスー
ちょっ…橘くん！
それどういう
意味——

俺もさすがに
児童小説は
書いてなくて…
文字が大きい
ものなっ
大神くん！
同い年だから!!
私達!!!

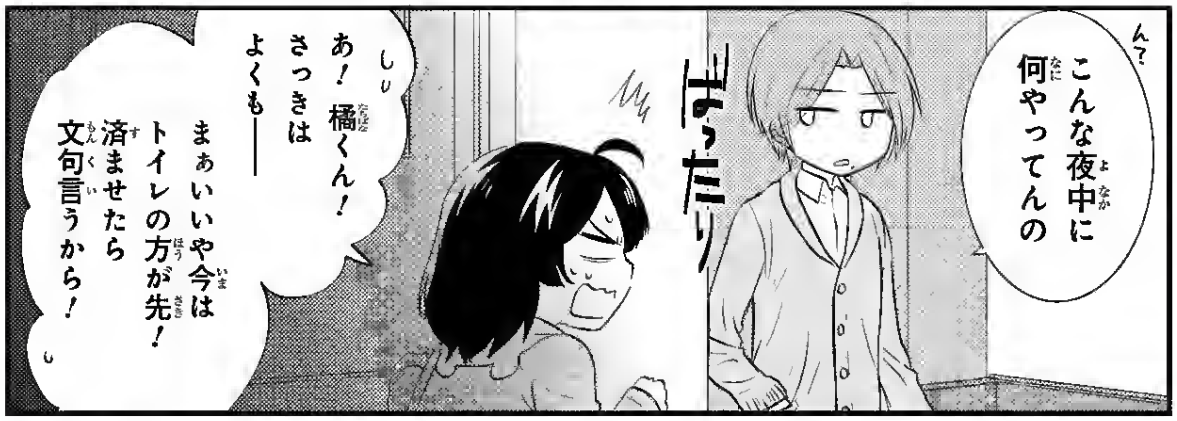
とりあえず何か読みなよ
好きなジャンルとかあるか？
えーっと
怖い系以外なら何でもいいよ

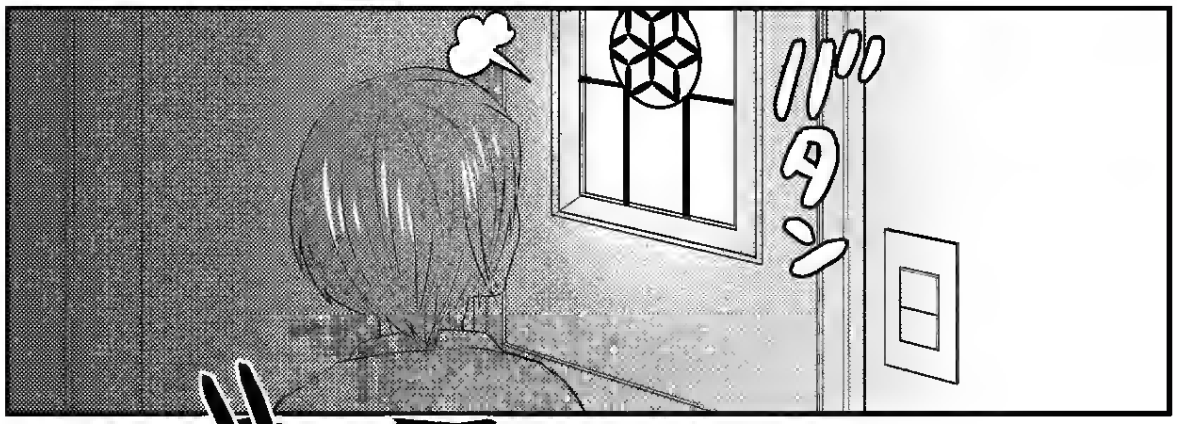
じゃあコレ
丑三つ橋
大上
どど
思いっきり怖いチョイスじゃん!!!

いや これ言うほど怖くないって
最後のどんでん返しのトリック重視な内容だもんね？
うんまぁ…一応…
えっ そうなの？
いやでも有人のミステリーは超一級品だから読んで損なし騙されたと思って読んでみたら？
あの
うん じゃあこれにする！

だまされたあああああ
ガタ
ガタ
ガタ
めっちゃ怖い!!!

でも面白かったから
結局読んでしまった…
ううん 寝る前に
読むんじゃなかった
プル
プル
プル
トイレ行くのも
怖いよお


ん？
こんな夜中に
何やってんの
ぱったり
あ！ 橘くん！
さっきは
よくも——
まぁいいや今は
トイレの方が先！
済ませたら
文句言うから！


パタン

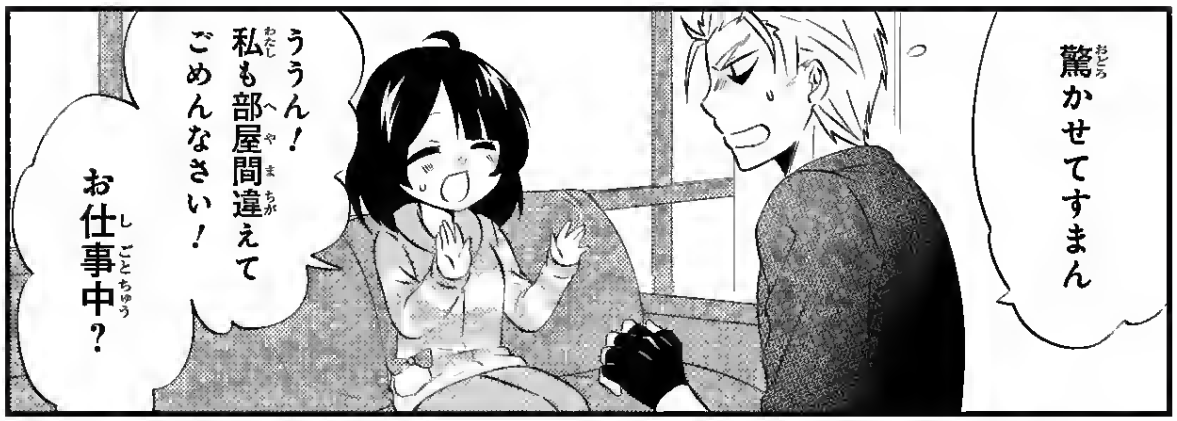
ひやあああ
ヒ

ううっ…橘くん
絶対許さない…っ
それにしてもこの家
ただでさえ
広くて迷うのに
暗いとさらに…
消しゴムがころんだっ
あっ あそこ
明かりついてる！
私の部屋だ！

わ～よかった
怖かった～！
やっぱり自分の
部屋は落ち着く――
ガバ
チャル

誰だ？
ゴソ
オオ

ぽたっ
あれ!? 小森!?


驚かせてすまん
ううん！
私も部屋間違えて
ごめんなさい！
お仕事中？

ああ 夜中の方が
筆がのるから
集中できる
うん？
入った瞬間すごい
気迫で集中力が
伝わってきたよ！

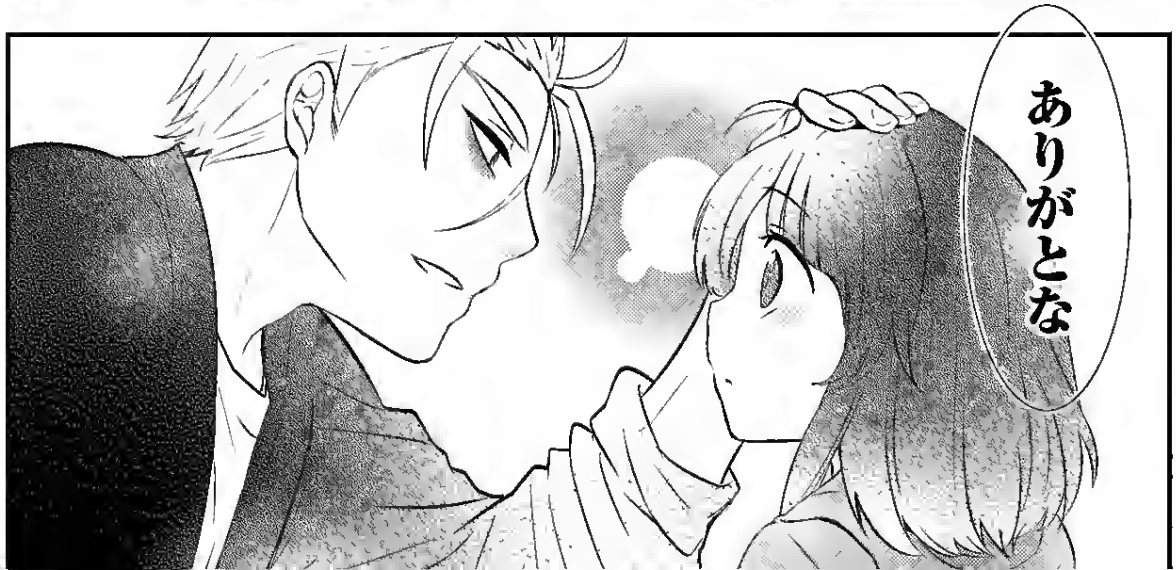
やっぱり大神くんは
プロの小説家さん
なんだね！
借りた小説も
すっごい面白くて！
でも同じくらい
すごい怖くて…

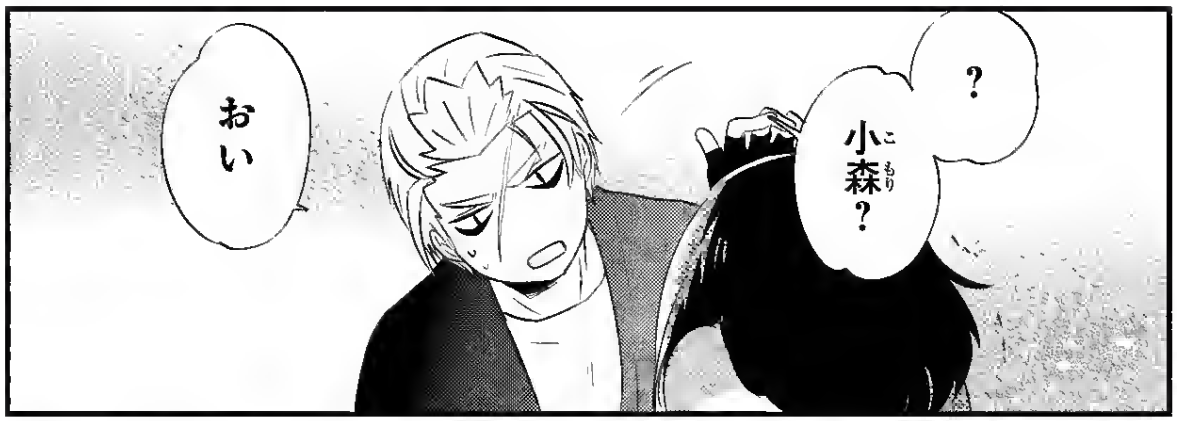
高校生にもなって
夜中にトイレ行けなく
なりそうで…
ご ごめん

でもでも！
面白かったのは
本当だよ！
最初の
怪事件の
トリック
すごかったし
ライバルがまた
かっこいいよね！
ラストの共闘シーン
超痺れた！
怖かった
けど一気に
読んじゃった！

…って こんなの
散々言われてるよね
ありきたりな
感想でごめんね
そんなことない

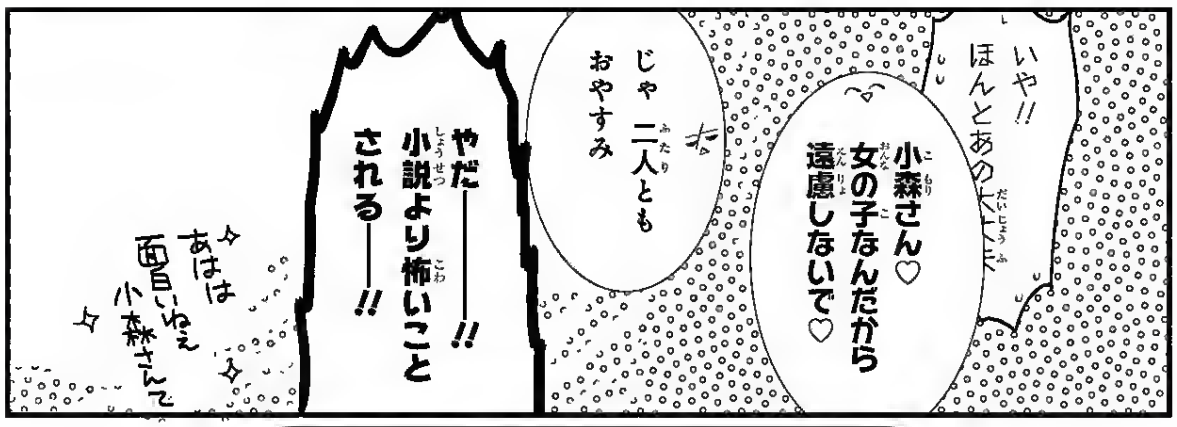
俺が書いた物語に
小森が何か思ったなら
それが一番嬉しい
小森の言葉で
伝えてくれたなら
もっと嬉しい


ありがとな


？
小森？
おい

大丈夫か？
ふ
不意打ち…
大丈夫じゃない
みたいだから

僕が部屋まで
送っていくよ有人
あ
起きたのか


いや!!
ほんとあの大丈夫
小森さん♡
女の子なんだから
遠慮しないで♡
じゃ 二人とも
おやすみ
やだ――!!
小説より怖いこと
される――!!
あはは
面白いねえ
小森さんて

次回更新は 2月 9日（火）